

令和 6 年度第 3 回社会教育委員会議日本民家園専門部会 議事録

- 1 開催日時 令和 6 年 12 月 19 日（木） 10:00 ～ 12:00
- 2 開催場所 日本民家園 園内、旧原家住宅
- 3 出席者 委 員 高橋部会長、野尻委員、柴田委員、服部委員、大泉委員、今委員
事務局 阿波園長、葉山担当係長、藤川担当係長、関主任、北澤職員
- 4 議 題
(1) 園内視察（井岡家・佐々木家井戸・山下家周辺・作田家・北村家・船頭小屋を視察）
- 5 傍聴者 0 名
- 6 会議内容
(1) 園長挨拶
(2) 会議成立の確認、配布資料確認
(3) 園内視察
(4) 報告事項 （原家 2 階にて事務局より説明）
・緑化フェア、市制 100 周年について
- 7 園内視察内容

●井岡家

葉山担当係長： 耐圧盤設置のため 2 m 揚屋をし、足元の補修完了後、下した状態。現在は屋根の解体中で、瓦解体後、葺土が見えている状態。屋根下地は杉皮。野地板はすのこ上に編んだ割竹。

耐震補強工事と保存修理工事を実施中。工期は来年度末までの予定。

野尻委員：杉皮は再用するのか。

葉山担当係長： 杉皮は状況に応じて。土を外してから状況が良ければ再用したい。

野尻委員：葺土は載せたままで揚屋したということか。

葉山担当係長： 瓦も葺いたまま揚屋した。下げ方後に、素屋根をかけ、瓦解体に着手した。

柴田委員： 井岡家の屋根は棧瓦と本瓦が混じっていると思うが、剥いだ跡をみると中央は本瓦か。

葉山担当係長： 真ん中と両脇に本瓦的な瓦が乗っている。瓦復旧時は屋根荷重軽量化のため空葺きとし、瓦は落下防止のため吊り止めする計画。

●佐々木家井戸

葉山担当係長： 北村家他3棟修理工事を実施中。その一棟として佐々木家井戸の杉皮屋根葺替工事完了。耐震補強はしない。

●園路排水整備工事山下口周辺

葉山担当係長： 迂回路設置の関係から数年に分けて工事している。門扉前の排水溝含め今年度実施する。

柴田委員： その間の迂回路はどこにできるのか。

葉山担当係長： トンネルの半分は通れる状態にする。休園日などに作業して、開園日は板などを渡して対応する予定。

柴田委員： 閉鎖しないのか。

葉山担当係長： しない。

野尻委員： 通路を確保しながら工事するということか。

葉山担当係長： そうです。

野尻委員： (トンネル側野原家軒下) 雨落溝には、玉石がない状態か。

葉山担当係長： 玉石はわざとなくしている。排水勾配が確保しにくいので、砂利を敷かず開渠にしている。

●作田家

葉山担当係長： 家を鉄骨の柱と梁で支えるような構造で補強している。そのため鉄骨柱が仕込んである。今は建具がないので鉄骨がよく見えるが、納戸の中など普段公開していない部屋に柱の配置を集中させることで、鉄骨柱が目立たないように対応している。

土間から梁を見ていただくことが園内の見せ場になっているが、間に先ほどの鉄骨が入るとかなり違和感があるので、鉄骨はのぞき込まなければ見えないところに入っている。

野尻先生：鉄骨か。

葉山担当係長： H 鋼。修景上、H 鋼の側面に木製の蓋で塞いでいる。
現在、電気設備工事中。工期は 2 月 1 4 日。補助事業の工期は 2 月末。

野尻委員：堅樋を囲う板は化粧仕上げか。

葉山担当係長：これから古色を塗る。銅製堅樋を箱状に囲っているが、目詰まり対処に備え、解体が可能な構造とした。

雨水の排水勾配確保のための舗装をしている。作田家はイベント等での活用度がとても高いが、ぬかるみがしやすい状態だったため、優先度を上げて舗装することになった。

軽易工事も行い、休憩所の屋根の葺替や、柱の改修を実施。ベンチもシロアリ対策のため擬木製で更新した。

自販機をセットバックし、休憩所のスペースを確保している。

柴田委員：やはり休憩所のキャパは少しでも確保してほしい。

大泉委員：自販機は置かなくてはならないのか。

葉山担当係長：自販機は指定管理者の収益になり、指定管理者が手配している。

阿波園長： 自販機をずらすのは指定管理者の業務。以前、熱中症の話があったが、休憩場所に水分を置いておきたいので自販機は必要。

柴田委員：自販機2台を撤去すると座れる人が増えるかな、と。

葉山担当係長：休憩場所確保のため、休憩所外側にもベンチを増設している。

柴田委員：来園者はここが早く使えるようになるのを待っている。

●北村家

葉山担当係長： 11月工事着手、屋根仕様調査を行い、現在葺材を撤去中。資材の搬出や積み込みなどは、月曜や開園時間前までに終わらせるようにしている。

柴田委員：茅の再利用はしないのか。

葉山担当係長： 広瀬家の工事あたりから、使わないことにしている。茅に発生したキノコの菌が奥まで回っているようで、再利用するとキノコが生えてくることが分かった。葺替の時は全取替にしている。

野尻委員：産業廃棄物として処理するのか。

葉山担当係長：木くずなどと一緒に処理する。

野尻委員：園内で処理しているのか。

葉山担当係長： 園内は落ち葉などのごみ捨て場があるが、その処理で一杯なので、茅を園内で処理することは難しい状態。

野尻委員：何年ぶりの葺替か。

葉山担当係長： 全面は移築以来。それまでは大きく2回ほど差茅をしたり、下地の竹のところから部分的に軒先だけを葺き替えたりしていた。

野尻委員：60年ぶりぐらい？

葉山担当係長： ５５、６年。全体の垂木竹の様子が分かり次第、経年劣化したものは処分する。

高橋部会長：竹を使っているのか。

葉山担当係長：はい。部分的に力垂木と言って木の垂木も入っている。

柴田委員： 囲炉裏の煙で家内を燻しているが、煙が出ていることで茅が黒くなっているというのは、屋根全体に行きわたっているようだ。

葉山担当係長： 茅も１０センチ１５センチぐらいまでは結構黒ずんでいる。炉端さんの煙というのは燻す効果で虫を防いでいるが、ガンガン炊いてしまわないほうがいいと思っている。煙はじんわり出ていれば十分。煤がべっとりついてしまうとはがれてしまう。

垂木竹の上に化粧茅を乗せ、横方向に竹で押さえてから、茅葺く工法が神奈川の特徴。

民家園は移築後５７年が経過して屋根下地や垂木竹をほぼ全部取り替える修理の周期に入っているので、大規模な保存修理になっている。また、小屋組み等に破損が見つかるため、木部補修工事の発注内容の変更を行う。工事は来年度の夏ぐらいには終わる予定。

学校体験などの活用度がとても多いので土系舗装とするか、排水が滞っているため、排水溝を設置するなどの整備を行う。

野尻委員：神奈川県の特徴ということだったが、神奈川県の人に葺いてもらうのか。

葉山担当係長： 神奈川県内に施工する職人さんがおらず、茨城県から来ていただいている。そちらの方たちと確認した仕様に倣い葺いてもらっている。

野尻委員：耐震補強はやらないのか。

葉山担当係長： はい。

大泉委員：茅は手で運ぶのか。

葉山担当係長： 手運び。いったん大型土嚢に入れたり運搬用リアカーに乗せたりしている。

柴田委員：屋根の横方向の細い篠竹はなにか。

葉山担当係長： えつり竹と言って、垂木と茅は縦方向で落ちてしまうので、それをせき止める意味で細い竹を横方向に置いている。

柴田委員：うまく残っているように見える。

葉山担当係長： 紐の結び方に特徴があるかなどを確認するため、えつり竹を残して解体してもらっている。ここでは篠竹だが、家によっては割竹や、すだれ状のものを合掌造りは置いている。家によって全然違うので、一気に解体できない。
小泉家便所と船頭小屋の杉皮葺きも葺替える予定。北村家工事と共に発注するため、来年の夏までには葺き終わる。

野尻委員： 民家園ができた時の屋根の仕様をここまで解体して調査できるということは、これが初めてのケースなのか。

葉山担当係長： そうです。全葺替えは1回目になると思うので、移築時の仕様が分かる機会と言える。

●船頭小屋

葉山担当係長： 杉皮葺は5年程度で損耗が著しく進行する。園内の樹木を切ってだいぶこの辺の風通しはよくなっている。

柴田委員：腐食が早まるのは落ち葉の影響もあるのか。

葉山担当係長：ある。

柴田委員：支障木はどんどん切ってもらわないと。落ち葉が菅原の屋根に積もっている。

葉山担当係長： 三澤家などの石置き屋根は、落ち葉が挟まるところが多いので、年1回程度除去している。園内の樹木管理もナラ枯れ対応を続けている。また、家に被さっている樹木は切る方向。

柴田委員：工藤家などはだいぶすっきりした。以前は建屋が見えなかった。

葉山担当係長： 広瀬家の周りもだいぶ通風はよくなってきた。屋根を葺き替えるのもよいが、風通しをよくすることも大事と考える。

（●視察後、原家２階にて）

野尻委員：作田家の舗装について、どういった舗装か。

葉山担当係長：土系舗装です。

服部委員：園路全面土系舗装か。

葉山担当係長：全面は難しい。学校体験で活用度の高いところを土系舗装にしている。

柴田委員： トンネルから先の園路、特に太田家から北村家までは車椅子では通るのが難しい。通路の平坦化はできないか。

阿波園長： バリアフリー化は課題だと認識している。土舗装もひとつの案として進めていきたい。舗装しない方が、土の香りがしたり、見た目が自然に近い感じがしたり、よい場合もある。

大泉委員： お蕎麦屋さんに友人とよく行く。喜んでもらえるが、甘味がないのが残念。土日はカフェあるが、平日にも甘味があるといい。

阿波園長： 団子屋の「三吉野」が毎日ではないが営業している。満足してもらえるようになるといい。

服部委員： 園内に落ち葉がたくさん落ちているが、舗装されてしまって、集めた落ち葉を捨てる場所がない。植物の肥料になるので落ち葉を捨ててもよいところが欲しい。

阿波園長： 生田緑地整備事務所とも相談したいと思う。

高橋部会長：今年度燻蒸したと思うが、薬剤は何を使ったか。

阿波園長：エキヒューム。

高橋部会長：製造中止になるが、その後の対応は決まっているのか

阿波園長：もう一種のアルプを予定している。

高橋部会長：二酸化炭素を使用するなど、薬剤に頼らない方法もある。今転換期なので、ほかの博物館さんの動向も注意した方がいい。

阿波園長：秋の入園者数は11月は2万弱 12月は現時点で約6千人。

柴田委員：無料入園者数も入っているか。

阿波園長：入っている。

柴田委員：外国人の数は？

藤川担当係長：11月だけで1623人

阿波園長：入園者、収入ともに昨年度より多くなっている。

8 報告事項 緑化フェア・市制100周年について

9 今後の予定

令和7年3月 第4回専門部会 令和6年度事業評価について

以上について事務局より連絡。

<12:00 視察終了、閉会>